

第9回鋼構造シンポジウム 「制振ダンパーによる建築構造物の耐震安全性の確保について」

主催：日本建築学会中国支部，日本鉄鋼連盟

共催：日本建築構造技術者協会中国支部，協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

講師：笠井和彦 教授（東京工業大学 応用セラミックス研究所 建築物理研究センター）

日時：11月28日（土）15:00~17:00

定員/参加費：80名/無料

対象：本会・共催団体会員,建築技術者,大学院生,大学生

問合せ：広島大学 建築学専攻

山西央朗 yamanisi@hiroshima-u.ac.jp

内容：

“制振ダンパー”は鋼構造物の減衰効果を高め、構造物の振動を制御する装置である。今回は、設計例や実施された事例などの紹介を通して、中低層鋼構造物の制振設計および制振ダンパーによる耐震改修工法における、各種ダンパーの応答抑制効果や留意点について講演を行う。

また、近年、天井材の脱落防止に係る建築基準法施行令及び関係省令の改正並びに関係告示の改正が行われるなど、非構造部材や内容物への配慮も求められ始めている。いくつかの研究事例を通して、非構造部材や内容物を保護するためのいくつかの試みと最新の知見を紹介する。

本シンポジウムは、より高い耐震安全性を有した建築物の普及に繋げるために企画されたものである。是非とも、建築構造に関わる技術者、および大学生・院生の積極的な参加を期待する。



広島工業大学広島校舎
(広島市中区中島町 5-7)
082-249-1251